

部会別評価シート集計(魅力あるまちをつくろう！部会)

平成30年度東淀川区区政運営について、下記の評価欄のどれか1つに○をつけ、そのように思われる理由をご記入ください。
東淀川区運営方針の経営課題において取り組んだ内容は、総合的に見て、めざすべき将来像の実現に有効であったと思いますか？

【経営課題1】 自助・共助を担う地域力と、にぎわいのある元気なまち

めざすべき将来像	戦略	具体的取組・取組実績	評価 【部会 平均点】	左記評価理由 (取組内容のどのような点から、左記評価をつけられたかなど、 自由にご記入ください。)	今後の方向性 【未達成の場合】 反省点・改善点 【達成の場合】 さらに充実させてほしいところ
コミュニティと行政が連携・協働を進め、地域課題の解決に取り組むとともに、にぎわいのある元気なまちをめざす	【戦略1-1】 自助・共助を担う地域力のあるまち	1-1-1 地域活動協議会を中心とした地域活動への支援	3.3	≪1-1-1≫ 3. やや思う ・地域で行っている「のびのび学習塾」において、人材の紹介、物資の支援(関西子ども文化協会)をして頂いている。また、交流会などで他地域の意見も聞かせていただいている。先日、学習室に地域担当の方と地域づくりアドバイザーの方が見学に来られた。 ・支援に関してはがんばって頂いている。	・防災担当職員について、研修を重ねて対応が出来るように。自助を拡げる。 ・地域担当職員の役割が明確にする。 ・今後の地域づくりアドバイザーの支援を期待している。 ・地域がまだまだ活動できていない。
		1-1-2 地域担当制による協働のまちづくり	3.3		
		1-1-3 区地域保健福祉計画に基づく地域の取り組みへの支援	3.3	≪1-1-2≫ 3. やや思う ・担当者の方々は特に頑張って頂いている。防犯・防災に役立っている。	
	【戦略1-2】 にぎわいのある元気なまち	1-2-1 新たな担い手の発掘支援と地域・企業・教育機関・行政の連携による魅力あるまちづくり	3.3	≪1-2-1≫ 4. 思う ・興味を持つ人が集まっているので、担い手の発掘につなげていきたい。 3. やや思う ・魅力発見プロジェクトに参加し、役所の方々や地域づくりアドバイザーの方に大変お世話になり、ご協力を得ながら、少しはまちの魅力発信ができていていると感じる。 ・区民まつりの形が全く見えてこない。 ・区役所の協力のもと、進んでいる。	・魅力発見プロジェクトは今後自立に向けて考えないといけないのでは、と思う。 ・区民まつりは区全体が集える、全く新しい形に見直した方がいいのかも。 ・区民まつりでフェスやグルメで集客する。 ・魅力の発信をもっともっと！
		1-2-2 まちの魅力発信	3.3		
		1-2-3 区民による西部地域まちづくり	3.3	≪1-2-2≫ 3. やや思う ・10年以上住んでいる割合が73.9%に対し、歴史やスポットを知っている区民の割合は34.9%だけ。 ・魅力発信はまだまだ。	

【経営課題5】 区民の役に立つ区役所があるまち

・住民参画型の区政運営を行うとともに、情報発信力の強化に取り組む ・来庁者の目的を快適・迅速・確実に達成できる窓口運営を行う ・区民の役に立つ区役所を担う職員づくりに取り組む	【戦略5-1】 区民ニーズを的確に把握し反映する住民参画型の区政運営	5-1-1 区民等の参画による区の特성에 応じた区政運営の推進	2.5	≪5-1-1≫ 3. やや思う ・PDCA順調	
		5-1-2 広聴相談・総合窓口機能の充実	2.5		
	【戦略5-2】 伝えて、行動につなげる情報発信力の強化	5-2-1 区民が必要とする情報発信の強化	3.0	≪5-2-1≫ 3. やや思う ・LINEからの情報がたくさん入ってくるようになった。 ・SNSフォロワー数増加達成。 ・SNSによる情報は広まっているが、年代に応じた情報発信が必要。	・世代別の発信によって、発信力が強まるのでは。 ・SNSに関われない人にも配慮が必要。 ・情報の必要性を感じていない世代が多い。世代に応じた発信が必要。 ・SNSの発信はリアルタイムなのか、警察と差はないのかわからない。
		5-2-2 行動につなげる情報発信力の強化	3.0		
	【戦略5-3】 快適・迅速・確実な窓口サービス	5-3-1 心地よい窓口サービスの提供や利便性の向上	2.5	≪5-3-1≫ 3. やや思う ・当たり前にやることと、その先にあるサービスをわけて考えるべき。 2. あまり思わない ・待ち時間が改善されたとは思わないが、窓口で不快な思いをしたことはない。	・窓口を利用の際、入り口で手続きの仕方やどこへ行けばいいかを教えてもらったと聞いたことがある。さらに充実していただければ。 ・はぐくみネット事業と生涯学習ルーム事業については、以前の地域課に戻した方がいいのでは。
		5-3-2 民間活力・ICTを活用した窓口サービスの向上	2.5		
	【戦略5-4】 区民の役に立つ区役所を担う職員づくり	5-4-1 着実・確実な事務処理、コンプライアンスの確保等の取り組み	3.5		
		5-4-2 効果的な施策を企画・立案・実行する主体性・チャレンジ意識を持った職員づくり	3.5		

部会別評価シート集計(教育・子育て部会)

平成30年度東淀川区区政運営について、下記の評価欄のどれか1つに○をつけ、そのように思われる理由をご記入ください。
東淀川区運営方針の経営課題において取り組んだ内容は、総合的に見て、めざすべき将来像の実現に有効であったと思いますか？

【経営課題2】 こども・青少年の健全育成に地域が一体となって取り組んでいるまち

4. 思う 3. やや思う 2. あまり思わない 1. 思わない

めざすべき将来像	戦略	具体的取組・取組実績	評 価 【部会 平均点】	左記評価理由 (取組内容のどのような点から、左記評価をつけられたかなど、 自由にご記入ください。)	今後の方向性 【未達成の場合】 反省点・改善点 【達成の場合】 さらに充実させてほしいところ
・地域全体のつながりの中で こどもを守り、子育て世帯の支 援ができている状態をめざす ・こども自身が自らの力で成長 していく「子育て」を地域全体 で支え、将来の地域活動の充 実をめざす	【戦略2-1】 こどもとおとながお 互いに元氣になれるまち	2-1-1 あらゆる世代が子育てに 関わっていくための切れ 目のない施策の推進	3.0	≪2-1-1≫ 3. やや思う ・登校・登園サポートは当初目標の達成はできなかったが、子育てサロンや助産師への相談を 利用した人の満足度は高く、今後も引き続き行ってほしい。 ・一時預かり保育利用者が減っている理由が気になる。 ・直接関わりを持った方々(子育て真っ最中の方々)は情報を得たり、足を運んだりして、育児に いかしているから。 ・助産師相談利用満足度98.3%。この時期が一番子育てで不安な時期なので自信が持てるよう になると思う。 ・区役所職員の皆様方と地域の方々が協力して自分達の住む町を少しでも良い方向へと考え てくれていると感じます。	・問題のある家庭の確認が課題。 ・専門家のアドバイス、子ども同士で声を掛け合う、学校や区役所も連携して、みんなで サポートすることが大切。 ・子育てサロンや助産師への相談を利用していない人が本当は課題なので、そこも支援 できるような取り組みが必要。 ・SNSの活用 ・町会で情報を共有 ・地活協との連携、居場所の継続支援 ・生活習慣や学力、体力結果等の結果が改善していないので、何が課題なのかをまずは 知り、みんなで考える。 ・交流していない人へのアプローチが必要。 ・一時預かり保育利用者にアンケートを取ってはどうか。 ・居場所を開設している人のフォローが必要。 ・一番身近な大人は親なので、親の自尊感情の向上も必要。 ・数値のうえで達成という評価になったとしても、さらなるアピールを続ける(認知してもらう) 必要あり。 ・未達成の数値について、認知してもらうための発信は続けながら、地域との連携もこれから どんどん必要になると思う。 ・子どもたちはいつの時代も自分を取り巻く環境に左右されることなくとも元気なのですが、 導いて行く立場である大人達が少し元気がないように思う。 ・場所の問題や開設時のスタッフの問題。継続して運営していける為のお金の問題等、まだ まだ課題は残っている様子。もう少しスムーズに立ち上げれる仕組みがあれば。
		2-1-2 地域の誰もが自由に集ま れる「居場所」づくり支援	2.6	≪2-1-2≫ 3. やや思う ・子どもの居場所づくりは拡大してきているが、情報が届いていないのでは。 ・「居場所開設数」より本当に「誰でも自由に」となっているのか気になる。 ・5地域の居場所新規開設ができたことはとても喜ばしいことです。積極的に取組みたいと思う 地域もあり、このまま歩みを止めずに進んでくれれば嬉しい。 2. あまり思わない ・居場所づくりの継続が難しい。 ・どこにどのような集まれる場所があるかがわからない。	
	【戦略2-2】 すべてのこどもが 「生きる力」を身に つける「子育て」、 「共育」のまち	2-2-1 「生きる力」を身に付ける のに重要な自尊感情の 向上	3.4	≪2-2-1≫ 4. 思う ・自尊感情向上のための取組みが良い結果に繋がってきている。読み聞かせ事業も色んな所 で広がっていて素晴らしいことだと思う。 ・自尊感情があまり高くなかったことが気になっていたが、今年度から90%超えをしたことに 感動。この数値は100%に近いところに行くことを願う。	・自分の大切さを認識できる授業の割合をもっと増やし、そこからもっと進めて他の人の大切 さを考えられるような方向性の授業。
		2-2-2 子育て世帯を含む地域 住民の交流促進	3.6	3. やや思う ・2-1-2と共通するが、問題がある家庭が実質的に表面化しにくい。 ・誰か一人でも自分を見てくれていると感じていれば、自尊心が向上すると思う。 ・失敗を極度に嫌がる子どもがいるので、新しい挑戦に足が遠のいて、成功体験を感じにくく なっているようにも感じるが、自分に自信も持っている子どももいるのも事実。	・子ども・青少年の健全育成に関する取組に参加したいと思わせるような内容なのか、アピー ル方法なのかを見直す必要があると感じる。 ・こちら側からの発信に気づいてほしい方々にどうしても届いていないという課題はついて 回るので、地域のあり方をもっと深く考えていくべきであると感じる。
		2-2-3 分権型教育の推進	3.8	≪2-2-2≫ 4. 思う ・交流はできているので、課題解決に向けた積極的な取り組みが出来る方がいい。 3. やや思う ・各地域のコミュニティ施設で定期的に事業を活動されていて、交流の場としては機能している と思う。	・全ての子どもに何かしらの才能があるはずなので、その才能を伸ばしてあげられるよう、 大人はもっと子どもを褒めていった方が良いのでは。 ・子どもも大人も一緒に楽しめるような事業があれば良いかもしれない。

部会別評価シート集計（健康・福祉部会）

平成30年度東淀川区区政運営について、下記の評価欄のどれか1つに○をつけ、そのように思われる理由をご記入ください。
東淀川区運営方針の経営課題において取り組んだ内容は、総合的に見て、めざすべき将来像の実現に有効であったと思いますか？

【経営課題3】 福祉と健康にみんなで取り組むまち

4. 思う 3. やや思う 2. あまり思わない 1. 思わない

めざすべき将来像	戦略	具体的取組・取組実績	評 価 【部会 平均点】	左記評価理由 (取組内容のどのような点から、左記評価をつけられたかなど、 自由にご記入ください。)	今後の方向性 【未達成の場合】 反省点・改善点 【達成の場合】 さらに充実させてほしいところ
自助・共助による地域コミュニティが確立され、誰もが住み慣れた地域で健康で安全・安心に暮らせるまちづくりをめざす	【戦略3-1】 共に支え合い共に生きるまち	3-1-1 複合課題世帯への支援	3.4	《3-1-1》 4. 思う ・単年度目標を大きく上回ったため。 ・多くの事例を取り扱い、支援することで生活課題の解決・改善につながった。 ・つながる場の開催や包括連携等で複合課題世帯への支援をされている。迅速に包括と連携をとって対応されていたことには頭が下がる。 ・窓口広報の必要性を会議・部会でたびたび訴えてきたので、ようやく具体化した。 3. やや思う ・今できる要素としては出来ていると思う。 ・総合的に有効であったから。 ・リーフレットが5月に完成。 2. あまり思わない ・今現状は支援につながるところまで問題世帯を把握できていないのではないかな。	・新規相談者の割合が実質的困窮者との中でどれぐらいなのか、今後の課題。 ・支援体制の強化 ・複合課題とは子どもや大人(親)の問題 ・今後、社会の関心が高まってくるので、更に各機関で連携した相談支援体制が求められる。 ・金銭管理の問題 ・精神疾患の治療継続、見守り ・相談窓口のリーフレットをどのように告知していくか。 ・安心と感じていない15%の課題を考える。 ・要支援者の評価・ヒアリング結果の広報 ・担い手支援の充実
		3-1-2 生活困窮者の自立支援	2.8	《3-1-2》 3. やや思う ・単年度目標を上回ったものの、わずかであった。 ・地域の担い手同士のコミュニケーションが深まっている様子だが、要支援者の評価が不明。 2. あまり思わない ・見えない生活困窮者との連絡や支援はどこまでできているのか不明。今後の課題はあると考えられる。 ・困窮者の把握ができにくい。	
		3-1-3 要援護者の見守りへの支援	2.9	《3-1-3要援護者の見守りへの支援》 3. やや思う ・独居高齢者を除いた場合は福祉施設等との連携等はだいぶなされていると思う。 ・ネットワーク強化と不明者情報メールの配信や取組みが出来ていると思う。 ・利用者の安心がアンケートに表れている。 2. あまり思わない ・支援する人材が確保できているのか、適性が問われると思われる。 1. 思わない ・担い手への施策不足	
	【戦略3-2】 いきいきと暮らす健康づくりに取り組むまち	3-2-1 いつまでもいきいきと自分らしく過ごすための健康寿命延伸への取り組み	3.4	《3-2-1》 4. 思う ・百歳体操等の事業はいい方向と考える。 ・百歳体操の拡充に力を入れておられ、連携でのこぶしネット参加や推進会議の開催、また、土曜日にも考える会への参加等、頭の下がる思い。 3. やや思う ・本当に社会的な現状をとらえて5年、10年後を考えていく必要性を感じる。 ・百歳体操のサポーター育成やレディースデイの設定他、実施されているが、まだ、参加者が一部の方だけのような気がする。 ・いきいき百歳体操、44会場達成	・目標的には達成と思う。 ・より百歳体操の開催の場が増えていけばいいと思う。 ・百歳体操参加者の保険や各会場のキャパ ・百歳体操の地域の独自メニュー ・百歳体操をマンネリ化させないように。 ・官からのサポートも必要 ・効果・エビデンスの公表 ・実態調査と要支援者の意見ヒアリング ・隠れた要支援者の発掘
		3-2-2 高齢者等の在宅医療・介護連携の推進	3.3	《3-2-2》 4. 思う ・区民に向けての啓発など、取り組みを実施できている。 3. やや思う ・具体的取組では実施されて17地域で達成となっているが、まだ深く取り組んでいかなければと思う。 ・リーフレットの配付。 2. あまり思わない ・認知症や高齢者は確実に老いていくという認識も必要。 ・担い手への施策不足	

部会別評価シート集計(安全・安心部会)

平成30年度東淀川区区政運営について、下記の評価欄のどれか1つに○をつけ、そのように思われる理由をご記入ください。
東淀川区運営方針の経営課題において取り組んだ内容は、総合的に見て、めざすべき将来像の実現に有効であったと思いますか？

【経営課題4】 安全・安心のまち

4. 思う 3. やや思う 2. あまり思わない 1. 思わない

めざすべき将来像	戦略	具体的取組・取組実績	評 価 【部会 平均点】	左記評価理由 (取組内容のどのような点から、左記評価をつけられたかなど、 自由にご記入ください。)	今後の方向性 【未達成の場合】 反省点・改善点 【達成の場合】 さらに充実させてほしいところ
地域において防災・減災活動、防犯活動、交通安全活動が進められ、地域住民が自主的・主体的に参画している状態をめざす	【戦略4-1】 防災意識が高いまち	4-1-1 区民の防災・減災の意識向上	3.3	≪4-1-1≫ 4. 思う ・意識の向上は見られたが、それは防災の活動によるものではなく、昨年の災害によるもの。ただし、この機会を逃さずに活動していれば、とは思う。 ・取組評価については評価できる。 2. あまり思わない ・昨年、大きな地震と台風という災害が起こったが、それでも区民それぞれが積極的に避難訓練に参加するという感じではなかったこと。	・まず、自助があって共助できるのであるから自分自身が助かる方法を考えれば、おのずと多くの人が助かって共助に繋がる。 ・簡単な備蓄や家屋の補強をするだけでも効果があると広報啓発する。 ・医療分野との連携は「見える化」が必要で、どういう機関とどう連携しているかを広く区民に知らせる必要がある。 ・4-1全て達成されて次に進んで地域の防災意識をさらに高めていってほしい。今後は、戸建住宅・集合住宅等の防災対策についての検討も必要だと思う。
		4-1-2 地域防災・減災力の向上	3.0	≪4-1-2≫ 3. やや思う ・取組内容は評価できるが、自助から共助に移行するには少し無理があると思う。	
		4-1-3 福祉・医療分野との連携	2.6	≪4-1-3≫ 2. あまり思わない ・福祉・医療との連携は目に見えてこないので分かりづらい。	
	【戦略4-2】 防犯意識が高いまち	4-2-1 地域安全防犯対策	3.1	≪4-2-1≫ 4. 思う ・防犯対策としては見知らぬ人に話しかけられたりチラシをもらっても受け取らないということが浸透しているのか、交通安全協会の啓発運動でチラシを配ってもなかなか受け取ってくれなかった。逆に言えば、それだけ意識が高くなっているといえる。 ・防犯カメラの設置台数の数量、青パトの出動数について出来ていると思う。 3. やや思う ・取組回数が少ないと思う。 ・地域全体がそれぞれ出来ているが、関わっている人が高齢化している。	・防犯カメラ、青パトの運用についてメンテナンスなど、継続力の強化が必要。(ボランティア含む) ・特殊詐欺や子どもに対する犯罪がまだまだ多く、より多くの人に対するアプローチが必要。 ・今の活動を継続して住民に防犯意識を高めていく方策を考えてほしい。 ・保安官のような役割の人が必要。民事介入が出来ないため、警察では少し相談しにくい。 ・先日の吹田市千里山の警察官襲撃事件でも防犯カメラの存在意義が世間に知られたと思う。設置する側とそれを使う行政・警察が連携すれば犯罪の抑止力になり、犯罪が減ると思う。
		4-2-2 重点犯罪の抑止	2.9	≪4-2-2≫ 4. 思う ・実施回数的には評価できる。	
	【戦略4-3】 交通安全への意識が高いまち	4-3-1 自転車ルール・マナーの啓発	2.3	≪4-3-1≫ 3. やや思う ・取組んでいる割に住民のマナーは向上していないと思う。 2. あまり思わない ・自転車マナーや交通マナーについては、それぞれの生い立ちや家庭の教育において長い時間をかけて個々の中に構築されてゆくと感じる。特に信号を守らない悪質な暴走自転車については何らかのペナルティを与えるべき。 ・大人や高齢者のマナーが悪い。 ・大人・子ども、共にマナーがなっていないのか、知らないのか。	・周知・勉強会等の強化 ・危機感の無さを周知でカバー、啓発活動の強化 ・講習会の回数を増やし、マナー向上に努めてほしい。 ・H27.6施行の自転車運転者講習制度が全く機能していない。そのあたりの検挙を警察と連携して進めていくべき。特に悪質な自転車運転については講習を受けさせることが出来る制度であるから、実施してほしい。区の制度とは違うので難しいが、最初からルールを守る気持ちがない人にいかに指導できるかがポイントであると思う。
		4-3-2 交通安全運動の推進	2.6	≪4-3-2≫ 3. やや思う ・危機感の無さを周知でカバー。 ・取組んでいる側と行動している住民との意識の違いがあるから。 2. あまり思わない ・交通ルールは自らを守るためにある。	